

## 平成29年度第2回 豊川市子ども・子育て会議 会議録（要約）

平成29年9月22日（金曜日）

午後1時30分～午後2時50分

於：豊川市役所 本34会議室

### 1 あいさつ

白垣会長によるあいさつ

（略）

### 2 議事

#### (1) 地域型保育事業の設置に係る意見聴取について

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

- ・今すでに認可外保育施設として運営中のところが、小規模保育事業A型に移行するということか？

（事務局）経緯としては、市内の認可外保育施設が3月末に廃止され、そこの方から「小規模保育事業A型をやりたい。」という話があった。そこで、施設を整えてもらったり職員を確保してもらったりといった準備期間を置き、また開設予定の場所で認可外保育施設として実績を積んでいただく、ということで、6月から新たな認可外保育施設を始めていただき、数ヶ月の運営の後、小規模保育事業A型として認可をするという流れである。

- ・では、現状の認可外保育施設のまま、園児と職員は変わらないということか？

（事務局）現状では12人も園児はいないが、入所している方については、基本的にそのままとなる。ただし、保育事業となると就労要件が加わるので、その要件を満たせば引き続き、ということになる。なお、現在は外部から給食を取っているが、施設内の厨房施設を整備して自園調理できるようにしてもらう。

- ・市は、こういった小規模保育事業は、今後も話があれば認可していく意向か？名古屋辺りでは、小規模保育施設が各施設で取り合いになっており、なかなか認可が下りないという話を聞く。今後、市内の各園もいろいろ考えていくと思うが、市はこのような施設を拡充していく予定があるのかどうか？

（事務局）名古屋辺りで小規模保育事業というと、自治体が場所を用意して、そこでやる事業所を募る、というやり方が多い。豊川では、これで3か所めになるが、認可を進めていくことに多少の不安はある。小さいお子さんの需要は確かにあり、右肩上がりが増えていくのは間違いない。しかし、その一方で、園舎の老朽化という問題がある。園舎を改修していくにあたり、昔の園舎は0・1・2歳児が多くないという形で作られているので、それを多く入るような形で改修していくことになる。小規模保育施設ばかりたくさんできると、認可保育園で3歳未満児の受入れが可能になったとき、小規模保育施設がどこまでお子さんを確保できるかという問題もある。そのため、小規模保育施設は、やみくもに作るのではなく、3歳未満児の受入施設が不足しており、需要に応えられない地域において、認可をしていくことになるだろう。こういった施設での運営経験が無い

事業者がたくさん参入してくることは、我々も不安である。今までの2箇所については、1つは放課後等デイサービスを運営している事業者で、お子さんをお預かりするノウハウがあったので認可した。もう1つも、保育園を運営する社会福祉法人が経営母体となっているので、心配なく任せられるということで認可した。そういった実績などがあって申請があれば、認可をしていくと思う。

- ・ 詳しいことは分からないが、幼稚園で2歳児を受け入れないといけないという話もある。そうすると、2歳児が幼稚園に流れてくる可能性があり、小規模保育施設のニーズも少し変わってくるのでは、と考えられる。幼稚園としても、2歳児受入れの機能を考えていかなければならない。またいろいろ情報をいただきたい。

(事務局) 幼稚園における2歳児受入れの件については、我々もまだ情報が無い。今は、幼稚園も満3歳という形で2歳児も受け入れていただいているが、2歳児ということで何をどこまでしなければいけないか、給食の外部搬入の問題にしてもそうだろうし、小さいお子さん用の設備にしても買い揃える必要があるのか無いのか。そういったことも含めて、幼稚園からの相談は受けたいし、こちらから幼稚園に相談もしたい。

- ・ 全国的に小規模保育施設というのは増えているのか？

(事務局) 小規模保育施設のメリットとして、行政側としては、短期間で整備ができるということが挙げられる。条件さえ整えば、1年以内で開設でき、行政側とするとありがたい。

- ・ 既存の公立保育園に0・1・2歳児の部屋を整備するよりも、コスト的にも安いのか？

(事務局) 例えば、市内にある小規模保育施設の1つは、昔コンビニだったところを保育園に変えた。だいたい2千万円強ぐらいの整備費がかかったが、市がそれに出すお金は、国の補助を使うと6分の1で済む。つまり、約350万円ぐらいで、12人ほどのお子さんを預かる施設が1年以内に整備できるとなると、財政面でもメリットがある。

- ・ 元々は、子ども・子育て支援事業計画の数値も、ニーズ量を補正して、0歳児500人ぐらい、1～2歳児でも200人ぐらい減らしている。それが結局、今認可保育園で足りない部分として、小規模保育が受け皿になっている。

(事務局) それは否めない。また、それぞれの事業者の考え方がある。ある事業所はスキルを持った人を雇って自分達で事業を運営していきたいという考え方だし、別の保育園を母体に持つ事業所は小規模保育施設を作って小さいうちから園児の確保をしていくという考えがあると思う。

- ・ 定員を最大の19人にするには、もう1人先生がいるのか？

(事務局) 先生もいる。ただし、既にある2つの事業所も含め、どこも定員を12人としている。それは、定員を増やして13人から19人になると、給付費の単価が下がるためである。そのため、効率的に運営するには、まずは12人でやるというのが、経営者側からすると無難なところである。

## (2) 幼保連携型認定こども園の設置について

### 【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

#### ・認可はまだこれからなのか？

(事務局) まだこれからだが、事前に県と話はしているし、園舎を建て替えるのも、国県からの補助金を活用するが、内示を受けているので、認められると考えて良い。

#### ・友達の情報網では、既に認定こども園になるということで、入るか入らないかというレベルの話になっている。

(事務局) 認可は確定と考えていただいて構わない。事務手続き的にはまだ手順があるが、実際既に保護者向けに説明会が行われた。興味を持って来園された方が多かったと聞いている。ほぼこの内容で進めることになる。

#### ・園舎が建て替えられるということだが、園庭は広がらないのか？

(事務局) 今の園舎は、4部屋並んで遊戯室という棟と、2部屋の棟があり、そのうち2部屋の棟を建て替えて2階建てにして4部屋作るという予定である。その4部屋のうち2部屋を3歳未満児の部屋として使う予定である。園庭の広さは変わらない。

#### ・公立保育園が認定こども園になることはないのか？

(事務局) 今のところその予定は無い。公立保育園が認定こども園になるには、幼児教育を行う幼稚園機能のノウハウが無い、ということが挙げられる。ただし、今後要望があれば、公立保育園が認定こども園になる可能性はある。

#### ・公立保育園が認定こども園になれば良いと考えている。実は、子どもを保育園に入りたいから働いているような方もいる。旧町の地域には幼稚園が無く、1つの保育園から皆同じ学校に上がるようなところなので、よその幼稚園から小学校に上がるよりも、皆が通う保育園から上がる方が、子どもの環境にとっても良いと考え、近くの保育園に行かせている。仕事を辞めても同じところに預けられれば良いと思う。また、小規模保育施設についても、コストやニーズの問題もあるだろうが、どちらかと言えば、1つ1つの幼稚園や保育園の設備を充実させて、幼児教育を平等にというか、質の良い保育をどこもできるようにしてほしい。施設を増やすよりも、質を上げてほしい。

(事務局) 市内のいろんな地域に、小さい保育園や大きい保育園があり、行政としては、小さい保育園は1つに集めて大きくしていこうという思いがある。もちろん、公立保育園が認定こども園になれば良い、という意見があるのも承知している。2年ぐらい前にアンケートを取ったときには、幼稚園の無い旧町の地域では認定こども園に対する要望が多かったのも事実である。

#### ・率直に言えば、国の問題と考える。新しい子ども・子育て支援新制度を、消費税を増税して7,000億円使ってやりますと言って、こんな状態になってしまっている。幼稚園側としてはおっしゃるとおりだし、行政側の事情もそうなのだろう。認定こども園になるには免許の問題だったり、職員の配置の問題とか、事務局は「ノウハウが無い」とひと言で言っていたが、実際のところはいろんな問題があって簡単ではない。制度の移行期間とか云々ということを考え

でも、もうちょっと何とかしてほしいという意見は、全国から上がってはいるが・・・。

- ・幼稚園が認定こども園になって、幼稚園には保育園の良さが入ってくるのに、保育園が認定こども園にならないと、保育園に幼稚園の良さが入ってこない。
- ・認可定員について、現行が160人なのが、認定こども園に移行後に123人ということで、人数が減っており、その中に0・1・2歳児も入っている。そうすると3・4・5歳児は102人とかなり減ることになるが？

(事務局) 今実際に入っている人数がこのくらいである。160人という定員があるが、実際ここ3ヵ年の豊川東幼稚園の入っているお子さんは100人前後というのが実態である。保育園は、定員によって給付の単価が上がったり下がったりするので、定員をシビアに見るが、幼稚園は施設定員という呼び方をするが、あまり変えない。

- ・では、これによって人数が減ったから、入れなくなる人たちがいて困るということではないのか？

(事務局) そういうことではない。ただし、1点問題かなと思っているのは、今の在園児が各年齢ごと30人ぐらいいるというイメージだが、豊川東幼稚園のある桜木小学校区の子どもたちがどこの保育園に通っているかを調べると、豊川北部保育園は豊小学校区だが、そこに43人ほど通っている。その方々が認定こども園に移行後の豊川東幼稚園に全員来られるかというのと、それはできない。ただし、桜木小学校区のお子さん自体も、毎年20人ペースで下がっているの、あまり過度な設備投資をしたくないという、豊川東幼稚園側の事情もある。

### (3) 豊川市立<sup>ためとう</sup>為当保育園乳児室整備事業について

#### 【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見及び事務局回答・説明】

- ・こういった形で拡充をしていかれるのは良いことだとは思いますが、人手が今まで以上にたくさん必要になってくる話だ。ちょうど今月、私立幼稚園で来年度の採用試験を設定していた園が何園かあるが、応募者がほとんど来ていない。公立保育園や保育協会は、それなりに応募があったようだが、私立幼稚園に何園か聞いた中では、8月に求人を出して9月の試験でまったく来てない所が2園あり、予定の人数来てない園もある。保育士不足、幼稚園教諭不足というのが、今年特に深刻で、各私立幼稚園長が悩んでいる。市だけにおんぶに抱っこでは無いにしても、私立幼稚園も含めて全体として、人材確保の施策が必要ではないかと思っている。

(事務局) おっしゃるとおりで、募集をかけて何人か増やしていこうということは考えているが、年々申込みをする学生が減ってきている。選考を進めていても、例えば一次を通過している学生でも、「銀行に受かったから辞退する。」などという方もいる。やはり、保育士を希望する学生も減っているし、加えて3歳未満児受入れの拡充となると、0歳児は3人で先生1人いるというペースで保育士を配置する必要があるの、どんどん厳しくなっていく。そのあたり、ご意見を聞かせていただいて、何か策があれば取っていききたい。

- ・養成校の立場からの情報として、「保育園落ちた、日本死ね」のブログ以降、

保育士の処遇に関してマイナスの情報が大きく出た影響で、名古屋や豊橋で行われる大学展で、何千人という高校生が来るのだが、会場入口でどの分野を希望するかというアンケートをすると、保育士の志望が激減している。養成校としても、どう魅力を出していこうか、どう人材を確保していこうか模索はしているが、やはりパイの奪い合いになっている。もう1つは、有資格者が眠っているという問題がある。離職率が高い分野なので、保育士資格や幼稚園教諭免許を持っている方はたくさんいるが、現場で働きたくないという方がたくさんいる。それをどう掘り起こせるかという部分もあると思う。

- ・為当保育園に乳児室を整備するということで、具体的に何名の保育士をどこからという予定はあるのか？

(事務局) 採用については、16人募集した。実際はもう少し採りたいということで、調整している。ただこれも、定年退職する人、自己都合で辞められる方との差し引きになってくるので、実際16人と言っても、16人プラスになるわけではない。10人前後ぐらいになると思う。

- ・具体的に、為当保育園乳児室整備事業に必要な保育士はどうなのか？

(事務局) この部屋だと、保育士が4人は必要になる。例えば、退職された方へも、やって貰えないかとアプローチもするし、潜在保育士という点では、豊川市は他市と比べて4時間パートという、保育士資格を持った方が多くいる。4時間パートが、多い保育園では7～8人もいる。そういう方が1日勤務になってくれれば、クラスが形成できるので、我々もそちらの方を常にお願いはしているが、やはりご主人の扶養の関係とか、書類作成とかの事務はちょっと、というところがネックになっている。

- ・保育士の仕事の大変さが分からないが、一時期給料のこととか言われたときがあったが、離職率が高い理由は、先ほどの「保育園落ちた・・・」以降という、保護者が怖いからか？ それとも残業が多いからなのか？ 夜勤がある訳ではないし、なぜ保育士の離職率が高いのか？ 何が原因なのか？

(事務局) 自分が知る範囲では、どうしても公立保育園になってしまうが、結婚で市外に出られて辞めるというパターンが一番多い。

- ・保育士だと県外に行く人が特に多いという訳ではないのでは？

(事務局) ご主人になる方が市外にいるので出て行く、というケースが一番多い。

- ・保育士だと、というのはおかしい。県外に行くというのは、どの職業でも同じかなと思うが？

(事務局) 豊川市というか、愛知県の正規の保育士の給料は、そんなに低くない。なぜかと言うと、元々愛知県独自で給料に補助金を出していた時期があるので、給料月額に関して言うと、東京とかで言われている月額20万円そこそこしか無いという正規の保育士は、豊川にはいない。賃金面で言うと、それは正規保育士ではなく、臨時保育士のほうである。臨時保育士で1年契約の人が、市内の保育士全体の4割強いる。そういう方たちも貴重な戦力で、書類作成の事務を若干配慮したり、土曜日は無しでいいからという配慮をしたりしながらやってもらっている。そういう方のうち、もっと給料を貰いた

いという方は、1日勤務として、当然その代わり責任は負うが、今年も3～4名いる。

・時間だけ延ばして8時間のパートなのか、正規保育士にまでなるのか？

(事務局) 我々公務員の場合は試験なので、4時間パートだった人でも受けてそれなりの能力があると認められれば、正規保育士になる道はある。どちらかと言えば、1日やっている人たち、月給で20万円強という臨時保育士が試験を受けて正規保育士になるというパターンが多い。

・望めば正規保育士になる枠はたくさんあるのか？

(事務局) たくさんではない。今年の経験枠募集は3名としており、最終的に4名採用したが、その中には市の臨時保育士をやっていた方が2人いる。短大や大学を出て、臨時保育士として働き始め、試験を受けて新卒枠と同じ扱いで正規保育士になった方も2人いる。

・現場で関わっていらっしゃる保育士は、4時間パートであろうと、1日専従でやってくださる方であろうと、子どものことをとてもよく考えて、一生懸命やってくださっている姿は、私たちも感じ取れる。豊川は頼もしい限りだが、パートも入れて数合わせの点では満たされているけれど、質云々ということになってくると、そこまではとても深められていないというような現実だと思う。給料の話だとか、離職率の話が出ているが、実際の保育園を外から覗いてみたときに、男性保育士について、「娘に触られたくない」とか、変な意味での偏見をいろいろ耳にすることが多いが、実際にはあの年齢の幼児にこそ、男性と女性の両方の関わりがあって、家庭でもお父さんはなかなか子どもに接する機会は無いらしいし、風向きを変えて専門性を高めるという観点からも、男性保育士の積極的な導入と、もちろんそれを育てるということも大事だが、そういった点からもアプローチが必要ではないかと思う。

(事務局) 今年採用の中にも男性がいる。受けた数と比較して採った数でいえば、女性よりも倍率は低かった。公立保育園には現在7名の男性保育士がいるが、男性だからできること、体力的な遊びだったり、男性保育士が集まって研究しながらスキルを上げて、それを女性保育士にも広げる仕組みをやり始めている。そういったことが浸透できれば良いと考えている。そのほかに取り組んでいることとして、延長保育において、養成校に通っている学生で保育実習をやったような方を雇うということをやっている。現在5～6人ぐらいいる。その中で延長保育をやっていた方をそのまま採用した。実習だけではなく、経験を積んでもらって、保育士の仕事を分かった上で就職してもらおう、ということをやっている。

・4時間パートの方々にも研修の機会は作っているのか？

(事務局) 現実的にそこまで手は回らない。園の中でいろいろ話し合いとかはあるが、どこそこに集まってとかいう研修になると、1日クラスを持っている方で非常勤の方には研修の機会を設けているが、パートということになると、公立保育園だけで25園あるが、1日勤務以外のパートが500人ぐらいいる。他に保育協会の方もいるし、労務管理だけで精一杯で、なかなか4時間パートまで研修というのが、その人に合ったカリキュラムというのは考えるのが難しいとい

うのが現状である。

- ・年に1～2回からでも始めていくべきではないかと思う。それをしないと、いつまでも質の話に行かなくなってしまうと思う。いわゆる定数にはなっているという状態から、一歩踏み出さない。

(事務局) 4時間パートは、定数外のところである。なぜ4時間パートが置かれているかというと、クラスを持っている先生は休憩を取れないというところが出発点で、4クラスあったら4時間パートが1時間ずつ部屋に入って、先生達は休憩を取る、もしくは書類の時間に充てるとか、そういうことのための4時間パートを置いてある。採用するときに、当然保育士資格の有無を見たり、どこかで経験をしていたりとか、そういったことは見てはいるが、その後おっしゃられるように保育自体も子ども自体も変わってきているので、そういった研修とかは、検討してみる。

- ・公立保育園は公務員ということだが、市役所の事務員と、保育園で働く保育士の、男女は関係ないとは思いますが、給料の差はあるのか？

(事務局) 同じである。4大卒で保育園に入った人も、4大卒で事務員として市役所に入った人も、給料は同じである。

- ・同じだが、辞めていくのは保育士のほうが多いということか？

(事務局) 公立保育園について言えば、そうでもない。

- ・では離職率が高いというのは？

(事務局) 業界全体の話である。

- ・豊川では無いだろうが、20歳の人を2人雇った方が、40歳の人を1人雇うよりも安く上がるというのが、業界というか、今までそういう風潮があった。

(事務局) 実際には正規の保育士、園長、主任を含めて200人強いるが、今年定年を待たずに自己都合で辞められる方は、片手で足りるので、そう多く辞めるわけではない。

- ・私立幼稚園も、かつてと比べると平均年齢がかなり上がっている。園によってばらつきはあるが、離職率は下がっている。先ほどの、市のパートから正規へという話もあったが、結婚して子育てが終わってからもう1回パートとして復帰し、その後フルタイムに戻っていくというパターンの人も増えている。

- ・パートで戻ると、時給いくらという世界になる。正規採用と違うので。
- ・育児休暇を取る保育士もいるが、育児休暇ではなく退職したいという方もいる。戻ってくるときにフルタイムでとお願いすると、フルは無理だということで、パートで戻ってくる。

- ・為当保育園に話を戻して、0・1歳児を18名といっても、まだまだ足りないではないか？

(事務局) これで満足するような状態ではない。今年の入所の申込みが終わった段階でどうなるか、戦々恐々としている。保健センターで母子手帳を発行するときに、仕事をしているかどうかを聞いているが、仕事をしている割合が確実に上がっている。今後も3歳未満児については、いろんなことをしながら受け皿を増やしていくということで、これで終わりということではなく、手を変え品を変え、いろんなことをやっていきたいと思う。

- ・ニーズとしてはこんな規模ではなく、もっとあるはず。国がもっと整備を進め

て、0・1・2歳児を預けて女性が社会に参加して、というあり方みたいなのがキチンとできていけば良い、と当初は思っていたが、実際はおっしゃるとおり行政としても少しずつ前を見て手当していくという状態で、印象としては全然足りない。ニーズはもっとあるわけだから。

### 3 その他

（伊奈委員より）子育てサポーター養成講座の案内。

（事務局より）次回は12月21日（木）を予定。